(B 日本国特許庁 (JP)

40特許出顧公開

◎公開特許公報(A)

昭55--99703

⊕Int. Cl.* H 01 F 1/09	識別記号	庁内整理番号 6730—5 E	❷公開 昭和55年(1980)7月3			30 E	
C 08 K 3/02 3/10 3/22		7016—4 J 7016—4 J 7016—4 J	発明の数 審査請求				
3,52		1020 17			(全	5	頁

門真市大字門真1006番地松下電 器産業株式会社内 题 昭54-8358 者 大輪遊 御特 門真市大字門第1006番地松下電 ØЖ 题 昭54(1979) 1 月26日 器產業株式会社內 顧 人 松下電器產業株式会社 門真市大字門真1006番地松下電 門寬市大字門京1006新地 器產業株式会社內 の代 理 人 弁理士 中尾紋男 砂発 明 者 米野賀

電子遮索の発帳とともに銀石物館も弊しく肉上 1... その周波、使用食も無道的に増加してきた。 1、芫桐の名称 有症長も一段的ではた多く用いられている歯石は 異方権機能銀石の製造法 将末治会法で製造する飲化物展石である適称フェ ライト 亜石である。 この特性を飛石特性の一つの 展方位マンガン・アルミニウム・炭素な合金性 目安である最大エキルギは(BH)max で飲わす 石を出路するととによって得られた撤費水を主成 と、等方性磁石では(BH)max が標度 1 MGDe、 分として、とれに適当者のフェライト磁石参算末 異方類性石で2~4 MGOoでもあが、価格が他の および名士様コペルト版石版粉末を樹むと混合し、 その祝台比を適当にかえることにより根気特性を 磁石にくらべてきわめて安備であることが大きな 広範囲に変化することを可能にし、かつ、任意の 帯像である。との殊か代アルニコ 或石が多く 選尽 **形状、大きさに再成がして幸るととを考徴とする** されておも、この最大エネルギ病は6~8KKOo とすぐれた喉咙を示すが、消傷的にはフェライト 各方性化症器石の製造法。 強石にくらべてかなり耐高である。 とれはその帯 3、発明の詳細な説明 皮元素の一つであるコパルトが高値であるためと、 **本張明は異方性コンガン、アルミニウム・従業** さらに最近コベルト顕著の象上表ととものアルニ 系合金磁石の気粉末を主成分とし、これに適当な コ母若はますます高銀谷に なりつつある。以上の 雪のフェライト磁石供粉末かよび治土ポコパルシ p 種類の機石が現在様も多く使われている歯形で 出石仏扮束を削減と混合してなる異方性側離既石 の製造室に関するもので、その目的とするところ あるが、最近では粉末切コベルト磁石がそのをむ は安保にして広範疇の磁気特性を有する異方能響 だってすぐれた磁気物性のため各方面から注目さ れ始めている。現在のところ帝士雄元素自身から 労働行を提供しようとするものである。

びコパルトの局域格のため板石であるのの面痛も かなり高面であるが、それずぐれた何性を効果的 に境難でなる小説が必などにかなり多く使われて

成機能できる小説が必などにかなり多く使われて ゆく傾向がある。 さらに近年だなると、アルニコ 地石に匹配する

すらに選挙化をもと、アルココ 他石代配除する は最初色をもったよう医サンガン・アル(コラム 販業系金金値石が開発された。その代表の特色は 質慮加別をこまるののつまるのののも、成大ルネン 本が、日本 Datas でものののも、成大ルネン 本が、日本 Datas でものがのと上で力し、CO 似成エネルが明では限増アルニコので等しく、並 対対がコガン・アル・ニコ 心形で表まからる可能 もでてきた。当時、マンガン・アルとコシム等可 が成められた。明えだのの大かのかのと方を が成められた。明えだのの大かのかのと方を が成められた。明えだのの大かのかのたま方を が成められた。明えだのようなが、これらないがあ を向上をだめったり、他間スェージング加工を どの方数か成分られた。しかし、Cれらないがあ も後間が整かったり、他間スェージング加工を どの方数がありため、同りたればが都等された ものでもったり、で用でしていまらないできないである。 特別 昭55~99783(2) 表近に至り、このマンガン・アル (ニウム合金

に反義を譲することにより乗売組の3歳色性の の管理性が重すとさらに、成気等性を傾向対域 対大側に関連された。また、マンガン・フルイニ の止金金の表力性化機能も外側に列引され、帯定 機関の機能を影向での位配とよる辺力を表彰に、 って延延機能が、一下に変更し、さらだ下・相 だ匹力を越た大場合は、一下・ルファザイトを開 に応力を越た大場合は、一マ・ルファザイトを開 にたかな成大場合は、一マ・ルファザイトを開 にかける原子を譲回しるとの・相の口間に切む)

作品が創金され、現在では起源をデデ出方式でよる 長万世マンガン・アルミニウム - 炭素基合金維 石が構造される作品でた。

この最高の特別は可憐加工が可能で、伊城的味 起が大きれ、夏素あたりのエネルギーが大きい、 高労価力であるとなざのすぐれた行歌を有して いる。しかも低も大きな再数は成本の高素超君で ある者主項ロイルト個石、アルココ級医院はすべ

て高遠なロベルトを多く使用しているが、このマ ンガン・アルミニウム・炭素系合金母石はコバル) は金く佐暦せず、炭底的に最盛なマンガンとア ルミンウェの材料から成っている。この方式によ る処方性マンガン・アルミニウム・炭素派合金機 石は血化容易方向が排出様の相方向であるためス ビーカ用などの平型連石および収算用すダルット ロールえどに使われる外径の小さい狭式のものに は娘還である。しかし、極方向に退化力をもち、 並は歪の比較的大きい個石橋には上記の異方性化 虚解と銀造方式から考えて適用はむずかしく、大 まを特徴を有しまから用途範囲がかぎられていた。 かかる欠点を除去する有力な方法として、いっ たん異方性化した銀石を敷粉細し、 再取制する方 弦が考えられた。動得することだより、各様子は **東米の供石寺性を失わず、丘泉の形状、大きされ** 再成形できる大きなメリットが生れるわけてある。 一枝にお茶に感して、粒子の大きさはかのずから 连端を拡がぬり、再並無するときのパインダー等 との配合地の場係から数メオーダの組かい数子に

物物されることが担てしいとされている。 4 の間 についても感点機能対することが選生しいあい。 なんく詳くことはていたり曲点はかける時間があ くとし、また相談を異似、対策を伺ったければな りずでのを付けコルト調化になる。一方、時間を子 が大きければ、同ば物の根、近台が中のではな 力が、在面当りの風音量が少なくなり、十つちゃ 他を発力することができなくなり、十つちゃ 成形があることができなくなる。また、概定を 政的場合となるとなった。 しいては個域的形のを加えることになる。 しいては個域物形のを加えることになる。 したがって、かわずかちコルトと超子板と回列機能と

本稿別以上途の成尺値みてきまれたもので、本 病項で簡単とするとこのは、男力能化まれた此石 と助命してできた部子似それる表すでは異力的は まれたは前数子であり、磁域原形の紙、前途せる ようをコュタイト数石、由土頭エベルトル石のよ うに母出低数子で近い」よ母駅の模型子に当時し よくても金属と同一方向に極端を別が必定列され来 万程化されるととができる。しかも放布される場合、他を大利の一方内容を4 フトルウモの総数子自 身が相互数 川し合。で総合度を使くし、新代票組 し合ってそれだけが終まくつのとびととができる。 すなわち、粒子の大きちの決定は、これを原動す る際、イインダーとの走台上でのみ値はしてくる がけてもる。

かかも増点から整盤と依気将後(梅東警戒)と の現場を実成的にしらべたところ、約100ヶ程 座花砕くととが影砕に長する碑間、板盤の展表等 からみて名も効果内であるととがわかった。

この放便 1 00 日間区の砂砂型子を開催する大 ので機場取得したところ。一時として強導成業態 成当: - 4000 Gauss 、減減力が- 200000、 拡大エネルが減(3日) pass - 9.0 はGOのの置が 扱うれた、直張特性がが作けるのだパイングとし て関いたは海の配金がが有りなったか。、物が だもその体表に比別して効率分化から、 数学力 加としては関小の方法が考えられ、通過かべイン と性情に、特異概念とと考慮的ではそことなる。 特爾昭55—99783(3) り、向一体状で、もとの表石と同様式の存益を得

ることが可能である。 病感でもように、現在最も多く仮われている点

石はコストのメリ・1 の次とカフェクイン発送で ある。その「だかけたコストメリットのへの、被 動かり無効無管化表向に対する高性を自己の形態 だちかかわらずの角として保証い業費があり、広 く何いあれているのが異次である。しかし、火災 の場面の小型化、死症を心の側向は下土する開係 だきる。これで通道してゆくには必否も次属所が 能変をものにおまかわらざるを得ない場向にもあ

一両を心器高度で一方にとれば、気管ロの5ー のる方がス・ライト高音を使用している。 延末さ では、このフェライト最高の場合ですみ、消滅す 安末される小型高度で一片の研究を対応してない。 た、しかるそ表近の小型温度で・よの病性の上の 類似で・よのかな、大きさをまただちらだで ーが限むで・よのかな、大きさをまただちらだか あたかれる。 変数点容量をかながらり 20分 あたかれる。 変数点容量をかながらり 20分 あたかれる。 変数点容量をかながらり 20分 の

1

水されてきてかり、成はや一を特色れてのとませた。 モーメの形状、大きさせいるくするよどの残水が 感信をまでいる。このことは、アまわちゃーメル 使用されている適当の間医研性を向上させること に低かるちない。この対策としてはマーメ側で面 変慮をさらに大きくとれるような政策が実を行 をったり、流は形をれたスペース門で配与の単な、 大きさを反え、「関係に執済選択を大きくとる方成 し、この方向もあるレベルをでは消費を向上さる し、この方向もあるレベルをでは消費を向上させる ことができるかべたとでは消費を向上させる ことができるが、機場がに関上でせるには長木 がになりまます。 がはるなが、機能がに関上でせることを行 たって代表的物性は下記の解りまかよび都か必然にある。 (※17余日)

成) 免益困難の衛衛

章 名 式	40		7~10	30~40	9	
(4)大生中(4) (8Hhma(\$6300)]	0.8 ~ 1.0	2~4	6,6 - 6,6	1.2	ON N	
SE SE TE	0061	2800	730	0006~	~8000 ((s000)	
朱母母来告記 お・(の)	8800	4300	18500	-7000	0004-	
# 25 m m	客方化フェライト	本体数フェライト	2 4	6土曜コペント (七月ワエ)	4大流コイタト (サッチウル)	

-5

上記の特を表からわかるようだ。各項石は付替 が巡りためその飛石程者の特性を示し、同一傾向 の特性が退病的ボア~アしているわけで核ない。 このことは、例えば前述せる小磁直旋モーメの犇 なを寄子フップしたいので従来のものより約10 ~ 2 0 8 ブップしを磁石を使用したいと供り場合 に、嫉願の点り思石ではコスト、特性の概違から そのようなものをみつけることはむずかしい。し たがって若干の明生ア・プをはかる場合。死えば 異方性フェライト低石からアルニロ仮石にただ根 石だけを覆きかえることですますことはできず、 との場合、モータの設計をこの母石にあったよう に設計を運をしなければならない。 勿癖、 無石の コストアップの成かに、設計変更考による構成用 の増加も大きく、設計配例する場合には他常路等 に感趣をともなりのが感迹である。

かかる不穏合を形象するために、名儀石俗末を 複数と集合して任政の成石等性を示す様名を作る ことが考えられる。現在のところ、結合機能異方 🥄 他であるフェタイト成石、布土領マバルト3石の 柴師 昭55-99783(4)

費求が根据確石として使用することができ、すで に相差化されたものが市場にてている。しかし、 一般的には歯瘡患者は歯瘡をパイングとして使用 しているため、衛衛の体質配合比が約50メ付近 であり、その分充け同一体表のものと比較すると 特性がダワンする。したがって、フェライト単語 顧磁石では異方性でも芬芳性フェライト出石の特 おしか持られず、また商士領コベルト構造在署は 軽性的には十分なものであるが、商格的にはかな 8 展開をため、樹原直石の荷種を生かしたゼポな ととろだしか用いられていない。以上のように現 在の樹脂地石は実性範囲がごく減られたものしか てきていない。

● ■ ■ の B 氏 特性 からわかる ように、 それ石は (2007) 各々せの最石香寄の香座を示している。これもの 最高の水を適当に配合して高重磁石をつくれば、 特性的には点線で選示する範疇の特性のものが自 由に作るととができる。従来までは粉末にしても **減コバルト液石のまば消しかたく、しから特性、**

コストとも大きな術をがあった。しかるに前述に 節組した異方性マンガン・アルミニウム・炭素系 合金なその最高各性はアルエコに匹称するほど高 く、しかもコスト的にも有利な条件をもっている。 との粉末を主媒分としてとれに上記を登録の推石 お木を造めれ記せれば※→図の点積で図示する語、Zが## 造の特性のものを自由に持ることができる。かべ、___ して物もれた樹脂銀石は従来の男方益フェライト ば面磁石では後るととができなかった高い特性が 存品に待ちれ、さらに異方性フェライトより高性 蛇の骨性をその配合はを変えることのみて温収的 に得ることがてきる。しかもその主或分である * ンガン、アルミニウムはこの地上で多く感出する ためコバルト・希土胡元都とくらべてかなり安く。 コストメリットも大きい。 ざらに樹遊供符の全陵

性等の利点が加わることは知識である。 今後、との欺範囲の存住を存品に得られる点症 垂石以小型或或4~多以外内以《電子儀器、工業

的特徴である意欲性、撤離に混み込むとさの作業

はまわめて大きなものがある。 4、図面の能学を説明

代収人の氏名 弁理士 中 尾 坂 男 ほかい名

銀本図は現在市場にでているを意識器の k H 特

特闘 昭55一 99703(6)

